

2016年5月

Chiba University Formula Project



2016

Regular Report

07

活動レポート

ここではチームの活動について紹介していきます。

1. 1年生代表挨拶

機械工学科 1年 窪田 十也

はじめまして、今年から千葉大学フォーミュラプロジェクト(CUFP)に参加することになりました、工学部機械工学科の窪田十也です。

CUFPに参加した理由は、私はサーキットに行っておもてスポーツを観るのが大好きで、将来はモータースポーツの現場で働きたいと考えており、そんな私には学生がモータースポーツの全てを自分たちで行う学生フォーミュラ、そして CUFP がとても魅力的に思えたからです。また、チーム全員がそれぞれの役割を果たしながら、一つの目標に向かって一緒に進んでいく現場に自分も参加してみたいとも思いました。

今後 CUFP はエアロパーツに挑戦する予定です。常に新しい挑戦を続けるこのチームの一員に加われることを誇りに思います。これから学生フォーミュラについて多くのことを学ぶ中で、私がどのようにして CUFP の進化に貢献できるかを考えていきたいと思えます。

これからも一年生 8 人共々、CUFP の応援をよろしくお願いいたします。



2. HONDA 基礎講座

機械工学科 1年 肥田 航一郎

5月14日、15日、21日、22日にHONDAのマイスタークラブ主催の基礎講座に参加させていただきました。OB、OGの方々の経験談から始まり、基本諸元、コンセプトの決め方、パッケージレイアウト、記録の管理や伝承の大切さ、部品表の作り方、安全作業のために注意すること、機械製図の基礎について教えていただきました。機械製図の講義では、実際に三角法で投影図を書き、より理解を深めることができました。学生フォーミュラについてほとんど知識を持っていなかったのですが、今回の講座で製作の基礎知識やチームとしてどのように活動していけばよいのかについて知ることができました。

また、関東学生フォーミュラ連盟が主催してくださった懇親会では、他大学との繋がりができ、互いに今後の活動への意欲を高めあうことができました。

今回の講座で得ることができた知識を基に先輩から知識、技術を受け継ぎ、はやくチームの戦力となれるよう努力していこうと思います。

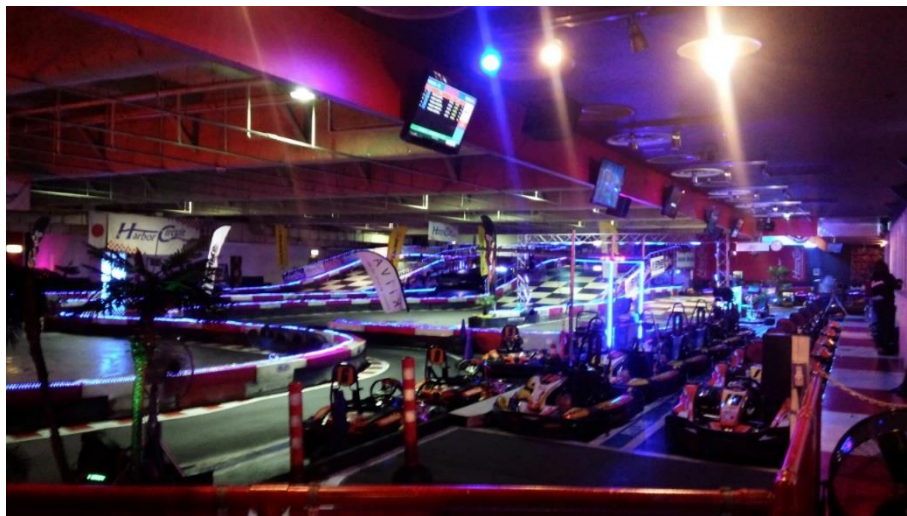


3. カート

機械工学科 3年 小泉 咲人

5月20日にハーバーサーキットで新歓カート走行会をしてきました。1年生は、カートに乗るのが初めてでしたが、周回を重ねるごとにタイムも良くなり、今後の成長が非常に楽しみです。上級生は、お互いの走りを見て、より速く走るためのアドバイスをもらいながら走行しました。

大会まで残り3ヶ月となり、これからフォーミュラカーで走行する機会が増えるので、カートでの練習を实践で生かし、タイムを少しでも縮めたいです。



設計・製作レポート

各設計担当者から、開発、および設計製作の現状をお伝えします。

4. カウル

デザイン学科3年 渡口 ひかり

カウルは現在マスターの製作中です。今年度は車両全体で例年に比べかなりの軽量化を図っているため、カウルの形状も無駄のないコンパクトな形にしました。製作メンバーを増やし、試走会で冷却の様子などを見るためにも8月の初めには完成させたいと考えています。

マスターは3D画像を輪切りにしたものから木型を作り、中に発泡剤を詰めて、形成後パテを盛って表面を仕上げるといった工程で製作します。現在は木型が組み終わり発泡剤を詰めている段階です。今年度は木型の数を減らし発泡剤も昨年度の余りを使用したためかなりのコスト削減にはなりましたが、その分整形に時間がかかってしまい、計画より若干ペースが遅くなっています。いかに効率良く作業し、次の作業に切り替わるかタイミングをきちんと見定めることが課題となります。マスターが完成したら、GFRPの積層によって雌型と本体を製作します。軽量化のため本体は縁と弱い部分以外は1層にする予定で



す。

フレームの塗装等のため組み付いていたマシンをばらしたタイミングで、フレームの剛性の実測を行いました。CADでの解析と実測の結果を比較し、CADでの解析結果よりも剛性が高いことが確認されました。

現在、静的審査の資料作りを行っています。デザインでは、フレームの実測や、3DCADを用いた解析などを行い、コストでは全パーツのコスト計上や、図面の作成を行っています。動的審査だけでなく、静的審査でも得点を稼ぎたいと思います。

これから大会に近づくにつれ、テスト走行を行う機会も増えていきます。テスト走行で見つかった車両の欠点を減らしてゆき、大会で思い通りの走行ができるように車両をアップデートしていきたいです。

SPONSOR

私達、千葉大学フォーミュラプロジェクトの活動は以下の企業、団体様よりご協力いただいております。このような貴重な勉強の場を与えて下さいましたことに、心よりお礼申し上げます。

※敬称略（五十音順）

企業・団体スポンサー様

出光興産株式会社	京葉ベンド株式会社
エイヴィエルジャパン株式会社	サイバネットシステム株式会社
エヌ・エム・ビー販売株式会社	ジョブテシオ株式会社
NTN 株式会社	住友電装株式会社
学校法人 日栄学園 日本自動車大学校	ソリッドワークス・ジャパン株式会社
株式会社エフ・シー・シー	千葉大学工学部
株式会社エルパ	千葉大学 工学同窓会
株式会社キノクニエンタープライズ	千葉大学材料加工学研究室
株式会社日下製作所	千葉大学フォーミュラプロジェクト OB
株式会社佐々木工業	日信工業株式会社
株式会社デンソー	日本精工株式会社 (NSK)
株式会社トーキン	日本発条株式会社
株式会社東日製作所	ビルドダメージ
株式会社トヨタレンタリース千葉	丸紅情報システムズ株式会社
株式会社ノウム	ヤマハ発動機株式会社
株式会社ハイレックスコーポレーション	有限会社アールエーシー
株式会社深井製作所	有限会社葵不動産
株式会社ミスミ	有限会社 Altrack
株式会社メタルワークス	有限会社トップラインプロダクト
株式会社ユタカ技研	有限会社プラスミュー
株式会社ワークスベル	有限会社茂原ツインサーキット
カルソニックカンセイ株式会社	レイクラフトレーシングサービス
協和工業株式会社	

個人スポンサー様

芦田 尚道
荒井 俊行
石山 竜太
伊藤 裕
鐘ヶ江 優
紺野 浩之
佐藤 陽
鈴木 明晃
鈴木 亮
高橋 昂史
田辺 真之
千葉 和輝
千葉 健太郎
戸井田 一宣
成松 宏一郎
平林 宏介
平柳 光
松崎 哲
山岸 一成

Special Thanks

千葉大学工学部実習工場
千葉大学自動車部
ホンダマイスタークラブ
レーシングガレージ ENOMOTO

今後も定期的に私たちの活動の様子をお伝えして参ります。

CUFP2016 活動報告書 Vol.7
千葉大学フォーミュラプロジェクト

2016 年度プロジェクトリーダー 小川和也

Mail: adya2154@chiba-u.jp

URL : <http://www.chiba-formula.com/>